

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R5・1・20
			No.53

にじゅうしせつぎ
二十四節気とは、1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもので、春分や秋分、夏至、冬至など季節を表す言葉として用いられています。二十四節気は、その年によって1日程度前後することがあります。

今日の1月20日は二十四節気の一つ「大寒」です。大寒は、最も寒さの厳しい頃をいいます。大寒の頃から次の二十四節気である立春（2月4日）頃までの期間が1年で最も寒さが厳しい季節となります。天気予報でも来週は寒波が襲来し、全国的に厳しい寒さとなる見込みだそうです。

右上の写真は正門の所にある桜の木です。遠くから見ていると枯れたように見えるのですが、近くで見ると、ところどころこのようにふくらんでいます。

桜は一度きちんとした寒さにさらされないといつぼみがふくらみ始めないそうです。これを「休眠打破」といいます。桜は夏までに「花芽」といって次の春に咲く花のつぼみのものをつくります。その後、花芽は秋には、いったん活動が止まり眠った状態(休眠状態)になります。この花芽が眠りから覚め、開花へ向けて本格的に生長を開始するには、冬の寒さが必要です。冬の寒さが刺激となって、花芽が眠りから目を覚まします。春に向けて気温が上昇するとともに花芽はさらにふくらみ、つぼみとなり、やがてきれいな花を咲かせます。

(右の写真は昨年春の桜です)

このように桜は、気温が暖かくなってから花を咲かせる準備を始めるのではなく、寒さで目を覚まし、だんだんと春に向かって準備を始めるのです。これは、みなさんも同じです。春になれば1・2年生は新しい学年となり、3年生はそれぞれ新しい場所での生活が始まります。次のステップで、これまで以上に充実した生活を送るためには、暖かい春になってから準備をするのではなく、桜のように今この寒さの中でも、一日一日を大切にすることで、努力を積み重ねて準備を始めておくことが大切です。



有田地方駅伝大会

有田地方駅伝大会が明日、開催されます。これまで練習にがんばってきたみなさんの健闘を祈っています。

男子チーム 谷口蒼空、山口遥大、岩木美雄、巽陽南太、田中獅恩
黒崎一武輝、上野山綺空、吉野圭祐

女子チーム 尾鼻遥歩、児島晏葉、山家三奈、中井心愛、中尾丹南
大谷葉月、網代彩花、西出二夢城

